

令和元年度事業計画書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人

活木活木(いきいき)森ネットワーク

1 事業実施の方針

本格的な利用期を迎えた森林資源を活かし、林業・木材産業の成長産業化を図るためには、様々な分野での新たな木材需要の創出と地域材の安定供給体制の構築を車の両輪として進めていく必要がある。

このため、これまで広く一般消費者を対象とした取組を実施して来たが、これらの取組に加え、民間企業等に向けオフィス空間や店舗における木材利用の効果などを伝える冊子などの作成、イベント等での木材製品展示等により木材の温もりに触れてもらうとともに、優れた地域材製品等を表彰するウッドデザイン賞を運営する。

また、公共建築物の木造化・木質化に向けた普及促進、「地域内エコシステム」の構築に向けたモデル的な取組の促進等による木材需要の創出や、高付加価値木材製品の輸出拡大等の流通及び利用の促進、民間セクターによる非住宅建築物等への木材利用促進、特用林産物を活用した成長産業化支援対策の取組に対して総合的に支援し、林業の成長産業化の実現を図る必要がある。

このためには、木造公共建築物、木質バイオマス等への林産物の利用促進を図ることが重要であり、この対策のひとつとして、木質バイオマス利活用施設等の整備に必要な資金の借入れについて利子助成を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施 予定 日時	実 施 予 定 場 所	従事者の 予定人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出 見込額 (千円)
① 森林・環境・木材に関する普及啓蒙事業	正会員及び家族会員に対する森林・環境・木材に関する普及啓蒙活動を行う。	4月～ 3月	特に場所を 定めない	延32人	一般個人並 びに法人	200
② 木材利用に関する企画・開発・普及事業	⑦民間企業等に向け木材利用の良さや意義などを伝える冊子などの作成、イベント等での木材製品の展示、ツイッター等による情報の発信、全国各地で木づかいの普及啓蒙を行う実践者のための教材の作成を行うとともに、優れた地域材製品等を表彰するウッ	5月～ 3月	日比谷公園、代々木公園、農林水産省消費者の部屋、林野庁7階、都立新木場公園、名古屋市(ポートメッセなごや)、東京ビッグサイト等	延1,250人	一般個人並 びに法人	15,563

	ドデザイン賞を運営する。					
	④木造公共建築物、木質バイオマス等への林産物の利用促進を図ることが重要であり、この対策のひとつとして、木質バイオマス利活用施設等の整備に必要な資金の借入れについて利子助成を行う	5月～3月	八戸市、奥入瀬町、平川町、宮古市、一関市、那須塩原市、日光市、富士市、浜松市、潟上市、新潟市、妙高市、岐阜市、名古屋市、松阪市、泉佐野市、神戸市、近江八幡市、福井市、岡山市、福岡市、太宰府市、岩国市、徳島市、宿毛市、松山市、都城市、鹿屋市、長崎市、大村市	延2,550人	一般個人並びに法人	46,567